

令和元年度 学力向上プラン

深谷市立花園中学校

R
分析

全国学力・学習状況調査より

- ・国語では、「話すこと」「聞くこと」「書くこと」の正答率は全国・県を上回っていた。特に、「書くこと」の無解答率が低く、記述して答えようとする姿勢が見られた。
- ・数学では、すべての領域で全国・県平均を大きく上回っていた。無解答率もすべてにおいて低く、記述式問題の正答率が高かった。
- ・英語では、無解答率が全体的に全国・県平均より低く、知識を問う問題の正答率が高い。また、実際の「話すこと」の正答率は、全国平均を大幅に上回っていた。

埼玉県学力・学習状況調査より

- ・国語では、3年生になると、正答率が県平均を上回るようになった。また、学年が進むとともに記述式の問題がよくできるようになった。
- ・数学では、1年生から2年生にかけての伸び率がとても良い。特に、2年生の正答率は、すべての領域で県の正答率を上回っていた。
- ・英語では、2、3年生の正答率が、「書くこと」において県と市を上回っており、特に英作文の正答率は、2年生で10%以上高かった。

NRTより

- ・知能偏差及び学力偏差は全国水準に比べ低い。
- ・中位層が多く、上位層、下位層は少ない。アンダー・アチーバーも、やや多い。

G
ゴール

【平成34年度までの目標】

- 全国学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。
- 県学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。
- NRTで全国水準を上回り、アンダー・アチーバーをゼロにする。

【来年度に向けての数値目標】

国語	伸びた生徒の割合			県平均との差			学力レベル		
	H30	H31	R2	H30	H31	R2	H30	H31	R2
1年	54.7	79.2	80.0	0	-2.6	0.5	8-C	7-A	8-B
2年	63.2	62.1	65.0	-0.3	-0.8	1.0	8-B	8-B	8-B
3年	70.2	67.6	70.0	3.3	1.2	1.5	9-C	9-C	9-C
数学	伸びた生徒の割合			県平均との差			学力レベル		
	H30	H31	R2	H30	H31	R2	H30	H31	R2
1年	71.7	73.1	75.0	-1.6	-4.1	0.2	7-C	7-C	7-B
2年	93.4	85.3	80.0	8.9	5.7	1.0	8-B	8-A	7-A
3年	60.6	51.0	65.0	4.4	3.1	6.0	8-A	8-A	9-C

【次年度に向けての重点計画】

- ・ 授業研究会や研修を実施すると共に、若手教員を中心に相互授業参観を行い、授業力の向上を図る。
- ・ 「学びゲーシオン」を活用し、学習習慣の確立を図り、家庭学習を充実させ、家庭学習ノートの実施率 100%を目指す。
- ・ 補充学習を積極的に実施し、上位層を伸ばし基礎学力を定着させる。

8月

校内研修（本校の課題の共通理解・改善策の検討、全学調問題の確認）

夏季休業中の補充学習会の実施

9月

校内研修（授業のよい点、改善点）

教科部会
各教科の取り組み
（全学調問題を意識した
授業の取り組みの確認）

10月

校内相互授業参観（若手教員の授業力向上を図るための相互授業参観）

授業研究会の実施（授業力の向上）
支援担当訪問（10月23日）

11月

英検対策講座

全学調問題を取り入れた、中間テストの実施

12月

授業力向上と学力向上研修（教員の授業力向上と学力向上の因果関係）

全学調問題を取り入れた、期末テストの実施

1月

冬季休業中の補充学習会の実施

校内研修（本年度の反省と次年度に向けての取組の検討）

2月

数検対策講座

全学調問題を取り入れた、期末テストの実施

3月

朝
学
習
の
実
施

基
本
問
題
の
反
復

全
学
調
問
題
を
意
識
し
た
授
業
の
実
施

家
庭
学
習
の
習
慣
化

提
出
率
百
%
を
目
指
し
て